



西幼だより

令和7年 12月22日
新潟市立西幼稚園

【教育目標】
しなやかに
たくましく

ブログも見てね！



(西幼稚園 HP)

探究への入り口

園長 渡邊 舞

七夕のころ、各ご家庭から懐中電灯を持ってきていただき、子どもたちが作った笹飾りを水の入ったペットボトルを通して照らしながら星の世界の雰囲気をみんなで楽しみました。それ以来、子どもたちは遊びの中に懐中電灯を取り入れて遊ぶことが度々ありました。コンサートのように歌ったり踊ったりする場面では光が素敵な雰囲気を醸し出すものになっていました。次第にいろいろなものに懐中電灯をあてその光り方を試すなど、懐中電灯は、子どもたちが試行錯誤しながら遊ぶのに欠かせないものの一つになっていきました。



12月になり、再び懐中電灯が大活躍。これまでの光に注目していた子どもたちが、今度は影にも関心をもつようになりました。懐中電灯で照らして遊ぶことを繰り返す中で、自分たちの姿が壁に映っていることに興味を示したお友達は、いろいろなポーズを始めました。しばらく、もう一人の自分と対話するように影を意識して、いろいろな動きをしているうちに「あれ?大きくなった」「見てみて、2人になった」と影が大小になることや二重になることに気付いたのです。その様子を見ていたお友達にもそのおもしろさが伝わり、またさらに別の友達にも伝わって、気付くと友達と一緒におもしろさを感じる姿っていました。そこには複数のいろいろな種類の懐中電灯。そして、光をあてると様々な色になる素材の数々。これらは先生たちが意図的に出しておいたものです。子どもたち自身がいろいろな方法や種類の道具を自分で選んで試して探究する姿につなげるためです。子どもたちの姿から、これは「探究への入り口」という瞬間をとらえ、じっくりとそのものに向き合う時間や場を保障し、その子なりに探究できるよう、私たちも共に楽しみながら支えてきました。



子どもたちの「おもしろい！」は特別なものやことだけではありません。「おもしろい！」の素となるものは身近なところにあります。その身近なところにある「おもしろい！」が子どもたちの『探究への入り口』になるかもしれません。探究＝ワクワクがいっぱい。年末は何かと忙しい時期ですが、子どもたちの『探究の入り口』を見付け、支えてあげてください。もしかするとそこから長期にわたる探究がはじまるかもしれません。大人が引っ張るのではなく、同じようにワクワクしながら楽しみ、その探究を支えてください。お家の方にとっても普段気付かなかった景色や世界が見えてくるかもしれません。

さて、私たち職員にとっての探究は…。12人の子どもたちの探究を支えることです。3学期も引き続き、子どもたちの成長をワクワクしながら全力で支えていきます。

2学期もご理解、ご協力をいただき、大変ありがとうございました。3学期も引き続き、どうぞよろしくお願ひいたします。体調に留意され、ご家族みなさまでよい年をお迎えください。